

議会ポスト 意見等への回答

作成日：平成28年3月17日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

私は、小学校1年生と3歳の子どもを持つ母親です。

私の自宅の近所には、子どもたちが歩いて行ける範囲に、遊具の揃った公園がありません。

そのため、日常的に子ども同士が集い、身体を動かして遊んだり、近所の母親同士で交流したりする機会に乏しく、子どもの運動不足や、近隣住民とのコミュニケーション不足に悩んでいます。

近所には、遊具のない公園および市が管理する空地は存在しているようです。

こういった児童が遊べる遊具の揃った公園の不足の問題を改善する方法には、どのようなものがあるのでしょうか。

予算の問題があることは承知しています。

市に要望できること、市と連携して住民ができることなどを具体的に教えていただけるとありがたいです。

回 答

子ども達やそのご家族、地域住民が安心して集える公園の整備についてのご意見を賜り、誠にありがとうございます。

近年は、少子化の進行や子どもの遊びの変化などにより生活の中で子ども達が遊ぶ声を聞くことが少なくなりました。また、地域コミュニティが弱まり、近隣住民とのコミュニケーションの機会も随分と減っています。このような中、子ども達が安心して遊ぶことができ、そのご家族や地域住民がコミュニケーションをとることのできる憩いの場として、公園の整備を望むご意見をいただいたことを大変嬉しく思っております。いただいたご意見に対し、以下のとおり回答致します。

市内には、高田公園や五智公園など広域で利用される総合公園から主に近隣住民が利用する街区公園まで多様な規模の「都市公園」をはじめ、子どもの健康増進や情操教育を目的とした「児童遊園」、農村地域に設置される「農村公園」、宅地開発などにより設置され、

地元で管理する公園など、規模や目的の異なる様々な公園があります。

市の担当課（都市整備課）に確認したところ、ご近隣にある遊具のない公園や空き地は、市が管理する都市公園等ではなく、宅地開発により設置された公園と思われます。これらの公園は、地元町内会等に管理していただいております。

市では、かねてより地元と市が協働で公園を整備する「マイミニパーク事業」に取り組んでいます。この事業では、広場の整地や照明灯、植栽などの基本的な施設を市が整備し、遊具やベンチ、花壇などの設置や整備後の維持管理を地元が担います。地元が一定の役割を担うことで、地域コミュニティの醸成にも効果が期待されます。また、地域活動支援事業を活用して住民団体が公園遊具の整備や更新を行っている事例も津有区や三和区、牧区など複数の地域で見られます。

ご意見にあるとおり、公園の整備や維持管理には費用がかかり、予算面での課題は看過できません。市では、公園施設長寿命化計画を策定し、市が管理する遊具等の計画的修繕に取り組んでいるほか、地元の町内会と市で、パーク・パートナーシップ協定を締結し、除草やトイレの清掃、施設の点検などを地元町内会に分担していただく取組も行っているところです。

公園は、市民の憩いと潤いの場であり、また、児童の健全育成や地域コミュニティの形成など、多様かつ重要な役割を担っています。他にも、災害時には一時避難所として、火災時には延焼防止などの役割も果たし、地域にとって欠くことのできない施設です。

今回ご紹介しましたとおり、市では、街区内の住民が主に利用する公園については、町内会等が整備や維持管理に関わる形で取り組んでおり、地域住民にとって身近な公園という観点からも、望ましい姿であると考えております。

議会としましても、市のこれらの取組を今後も注視してまいります。このことをきっかけに、地域住民にとって心地良い公園になるよう、是非、子ども会や町内会などで話し合っていただければと存じます。